

☆☆全国手話研修センター後援会ニュース 2017-vol.3 ☆☆

～新年のごあいさつ～



全国手話研修センター後援会 会長 清田 廣

新年、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、良きお正月をお迎えのことと存じます。

全国手話研修センターも当面の運営においてはなんとか維持できる財政状況ですが、厳密に経営状況を考えれば施設や備品の購入や修繕費用や減価償却費用を会計処理する余裕がありません。これらの費用を会計に入れば大きな赤字となり、安定した運営が行える状態にはなっていません。

この様な中でも、京都一点集中型から、事業を全国ブロックに展開させて、全国の手話研修センターである事への理解を進める努力と、手話研修センターの知名度アップに取り組んでいます。2017年度には、手話研修センター理事と、後援会幹事との意見交換の場を初めて設けました。

この場で、後援会としては、後援会がいくらがんばっても限界がある、全国の皆さんが支えるのは後援会ではなく手話研修センターであるので、手話研修センターの事業や方針等をもっと全国に発信していただきたいと要望しました。

現在の後援会は、未だ4,000人台に達していません。今年度当面の目標は5,000人です。少しでも手話研修センター事業の支えとなる寄付金を増やすためには会員増加が絶対必要です。

手話言語条例も全国に広がっています。手話言語法の制定も大切な課題です。これは、私達が、これらの実現に際してきちんと受け皿が準備できている事が大切な条件となります。この受け皿の拠点となるのが、全国手話研修センターです。2018年は、後援会としては、これまでの受け身的な活動ではなく積極的に全国に働きかける運動を展開していきたいと考えています。

聞こえない人と聞こえる人が一体となった全国初の組織である後援会を皆様の方で、発展させていただき、日本の手話や福祉の発展を皆様と共に進めていきたいと願っています。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

～近通研集會に参加して～

去る、12月9日（土）～10日（日）近畿手話通訳問題研究討論集會が京都で開催され、後援会のブースを作り、ぼんやりと待っておりました。

「あっ、ひょっとして、私忘れてるワ」と一人、二人と更新手続きをしていただきました。「前に入ったけど、たぶんずーっと忘れてる」と、また一人。「俺（ワシ）長いことこんな集會参加してへんさかい、こんなあるの知らなんだワ」と大阪の人が新規加入していただき、2日で5人。

少ないですが、もう12月、1月だから無理だろうとあきらめず、後援会加入、更新を呼びかけてみましょう。（近畿ブロック 持田委員）



※入会状況 (12月31日)

	合計	ろう	聞こえる人	目標	進捗
北海道	121	47	74	510	23.7%
青森県	113	74	39	140	80.7%
岩手県	38	16	22	100	38.0%
宮城県	92	56	36	160	57.5%
秋田県	33	15	18	70	47.1%
山形県	27	19	8	90	30.0%
福島県	50	19	31	200	25.0%
東北計	353	199	154	760	46.4%
茨城県	28	23	5	130	21.5%
栃木県	58	27	31	160	36.3%
群馬県	100	66	34	200	50.0%
埼玉県	106	26	80	610	17.4%
千葉県	199	70	129	280	71.1%
東京都	95	59	36	750	12.7%
神奈川県	65	32	33	390	16.7%
山梨県	49	20	29	100	49.0%
関東計	700	323	377	2,620	26.7%
新潟県	21	3	18	140	15.0%
長野県	68	10	58	170	40.0%
富山県	43	13	30	120	35.8%
石川県	63	27	36	160	39.4%
福井県	10	4	6	60	16.7%
北信越計	205	57	148	650	31.5%
岐阜県	45	17	28	150	30.0%
静岡県	255	102	153	340	75.0%
愛知県	154	47	107	520	29.6%
三重県	73	37	36	190	38.4%
東海計	527	203	324	1,200	43.9%
滋賀県	59	22	37	170	34.7%
京都府	162	46	116	330	49.1%
大阪府	313	157	156	750	41.7%
兵庫県	149	51	98	430	34.7%
奈良県	156	68	88	140	111.4%
和歌山県	62	8	54	130	47.7%
近畿計	901	352	549	1,950	46.2%
鳥取県	118	50	68	60	196.7%
島根県	46	17	29	70	65.7%
岡山県	107	33	74	190	56.3%
広島県	156	39	117	280	55.7%
山口県	71	14	57	110	64.5%
中国計	498	153	345	710	70.1%
徳島県	19	4	15	40	47.5%
香川県	50	25	25	100	50.0%
愛媛県	11	5	6	120	9.2%
高知県	39	20	19	90	43.3%
四国計	119	54	65	350	34.0%
福岡県	76	23	53	450	16.9%
佐賀県	15	5	10	50	30.0%
長崎県	83	14	69	190	43.7%
熊本県	27	12	15	140	19.3%
大分県	15	3	12	160	9.4%
宮崎県	18	10	8	100	18.0%
鹿児島県	34	15	19	80	42.5%
沖縄県	1	1	0	80	1.3%
九州計	269	83	186	1,250	21.5%
合計	3,693	1,471	2,222	10,000	36.9%

～四国手話学習会 手話でGo! 香川～

2017年11月19日(日)、
香川県高松市において、
四国の仲間が集まり恒例の
学習会を開催し、ろう者・健
聴者併せて86名の参加が
ありました。



午前中は、全国手話研修センター
後援会会長 清田 廣氏をお招きし
「全国手話研修センターの役割と後援
会の意義と将来」と題し、ご講演いた
だきました。



ろうあ運動の歴史を追いながら、「手話は、ろう者にとって生きる力だと熱く語られました。だからこそ、その手話の拠点である「研修センターの意義」には大きいものがある、と。高齢のろう者の行く末についても憂われ、孤独にならないように、研修センターがその一助ができるようになれば!と、将来の展望についても熱心に語られました。

四国でも、少しずつ手話言語条例が制定される地域が増えていくでしょう。その時に、「手話とは何か?」手話そのものをも一度考えたいと思わせていただいた講演でした。

当日、ノボリを立てて会員を募集しましたが、すでに入っている方が多く、18名の入会という結果でした。山本おさむさんのファイルも販売し、43枚売れました。(四国ブロック 河崎委員)

◆会員特典「冬の特産品セット」◆

今年度の会員特典、「冬の特産品セット」、多数の会員さまにお申込みいただきましてありがとうございました。金時人参や聖護院かぶら等の伝統京野菜をお楽しみいただけましたでしょうか。野菜をたっぷり食べて、寒い冬を乗り切りましょう。

☆事務局からのお願い

後援会では各地で皆様のご協力を頂きながら入会の呼びかけを続けております。地域でのご入会をおまとめ下さっている場合は、なるべく早めに後援会事務局までお届けくださいますよう、なにとぞよろしく願い申し上げます。

社会福祉法人全国手話研修センター後援会

住所: 〒616-8372
京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3番地の4
Tel: 075-872-6850 FAX: 075-873-2647
Email: yoshizawa@com-sagano.com (担当: 吉澤)
<http://www.com-sagano.com/koenkai/index.html>